

基本方針1 三江線沿線地域における公共交通ネットワークの充実

KPI1 市町間交通の輸送量(平均乗車密度*×運行日数)の合計値

○三江線代替交通として運行する「市町間交通」の輸送量の合計値

※平均乗車密度は、ある系統のバスについて、始点から終点まで平均して常時バスに乗っている人数を指す

現状値：25.1人/日(令和5年10月～令和6年9月における市町間交通各路線の合計値)

目標値：現状値以上(令和11年10月～令和12年9月における各路線の輸送量の合計値)

KPI2 公共交通サービスによる人口カバー率

○三江線沿線地域内の全人口に対する、公共交通のカバーする範囲※の人口割合

※公共交通のカバーする範囲:

バス停またはフリー乗降区間から400m範囲内、デマンド等区域運行範囲内、鉄道駅から1km範囲内のいずれかが該当する範囲

現状値：90.1%(令和2年国勢調査人口を基に算出)

目標値：95%(過去の増加率を参考に算出、計画期間中の達成を目指す)

基本方針2 誰もが安心して利用できる持続可能な公共交通の提供

KPI3 わかりやすい運行情報の提供に関する取組の実施状況

○計画の対象路線のうち、乗り換えアプリ(GTFS)に掲載され、かつ令和12年度に更新を継続している路線数

現状値：9路線(令和7年度時点で乗り換えアプリ(GTFS)に掲載されている路線数)

目標値：14路線(全路線導入、計画期間中の達成を目指す)

基本方針3 地域住民に支えられ、魅力ある地域づくりをサポートする公共交通

KPI4 モビリティ・マネジメントの実施状況

○各市町が年間2回以上、事業7の取組例に記載するような事業を実施

現状値：42回(各市町7年計)

目標値：60回以上(各市町5年計)

KPI5 公共交通と地域づくりの連携に関する取組の実施状況

○各市町が年間4回以上、事業8の取組例に記載するような事業を実施

現状値：122回(各市町7年計)

目標値：120回以上(各市町5年計)

評価指標1 三江線沿線地域人口に対する公共交通の利用者総数※比率

※公共交通の利用者総数は、三江線代替交通10路線の年間輸送人員の合計値

現状値：3.23(三江線代替交通10路線の令和5年10月～令和6年9月における年間輸送人員

÷三江線沿線地域の令和6年度人口推計値)

目標値：現状値以上(令和11年10月～令和12年9月)

評価指標2 公的資金が投入されている路線の平均収支率

現状値：16.5%(令和5年10月～令和6年9月)

目標値：18.7%(令和11年10月～令和12年9月)

モニタリング指標 運行費用に対する補助額

現状値：235,323千円(令和5年10月～令和6年9月)

目標値：-

評価体制・スケジュール

●評価体制

①事業の進捗状況の確認(モニタリング):

三江線沿線地域公共交通活性化協議会ワーキンググループ

(沿線市町、広島県、島根県で構成し、各交通事業者もオブザーバーで参加)

②KPI目標及び事業の評価

三江線沿線地域公共交通活性化協議会

●スケジュール

事業の進捗状況の確認(モニタリング)は、半年に1回程度実施します。

KPI目標及び事業の評価は、年1回実施します。

なお、令和10年度に中間評価を実施し、令和12年度には最終評価を実施します。

第2期 三江線沿線地域公共交通計画

概要版

基本理念

地域の人々の思いをのせて、新たな未来へつなぐ公共交通

計画策定の目的

三江線代替交通を含む三江線沿線地域における広域的な公共交通ネットワークの充実とともに、誰もが安心して利用できる公共交通を提供することに加え、地域住民をはじめとする様々な方々が関わることで、沿線地域活性化の礎となる公共交通体系を構築することを目的として「第2期三江線沿線地域公共交通計画」を策定します。

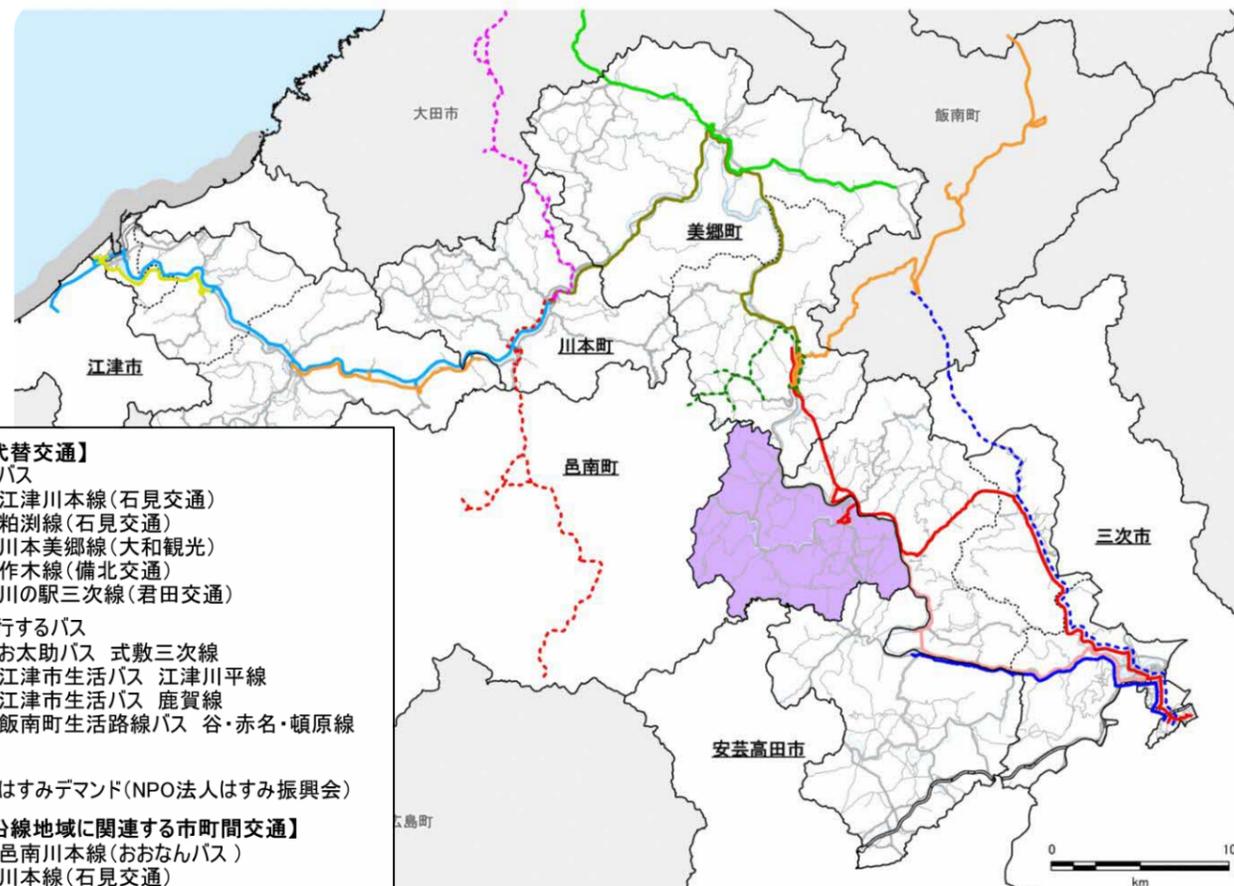
計画の区域

- ◆ 江津市、川本町、美郷町、邑南町、安芸高田市、三次市の6市町のうち、主に右図に示す三江線沿線地域を対象区域とします。
- ◆ 周辺市町や沿線市町内の他地域など、三江線沿線地域外に及ぶ広域的な交通ネットワークも視野に入れます。



計画の期間

令和8年4月～令和13年3月 5年間



【三江線代替交通】
民間路線バス
江津川本線(石見交通)
粕淵線(石見交通)
川本美郷線(大和観光)
作木線(備北交通)
川の駅三次線(君田交通)

市町が運行するバス
お大助バス 式敷三次線
江津市生活バス 江津川平線
江津市生活バス 鹿賀線
飯南町生活路線バス 谷・赤名・頓原線

区域運行
はすみデマンド(NPO法人はすみ振興会)

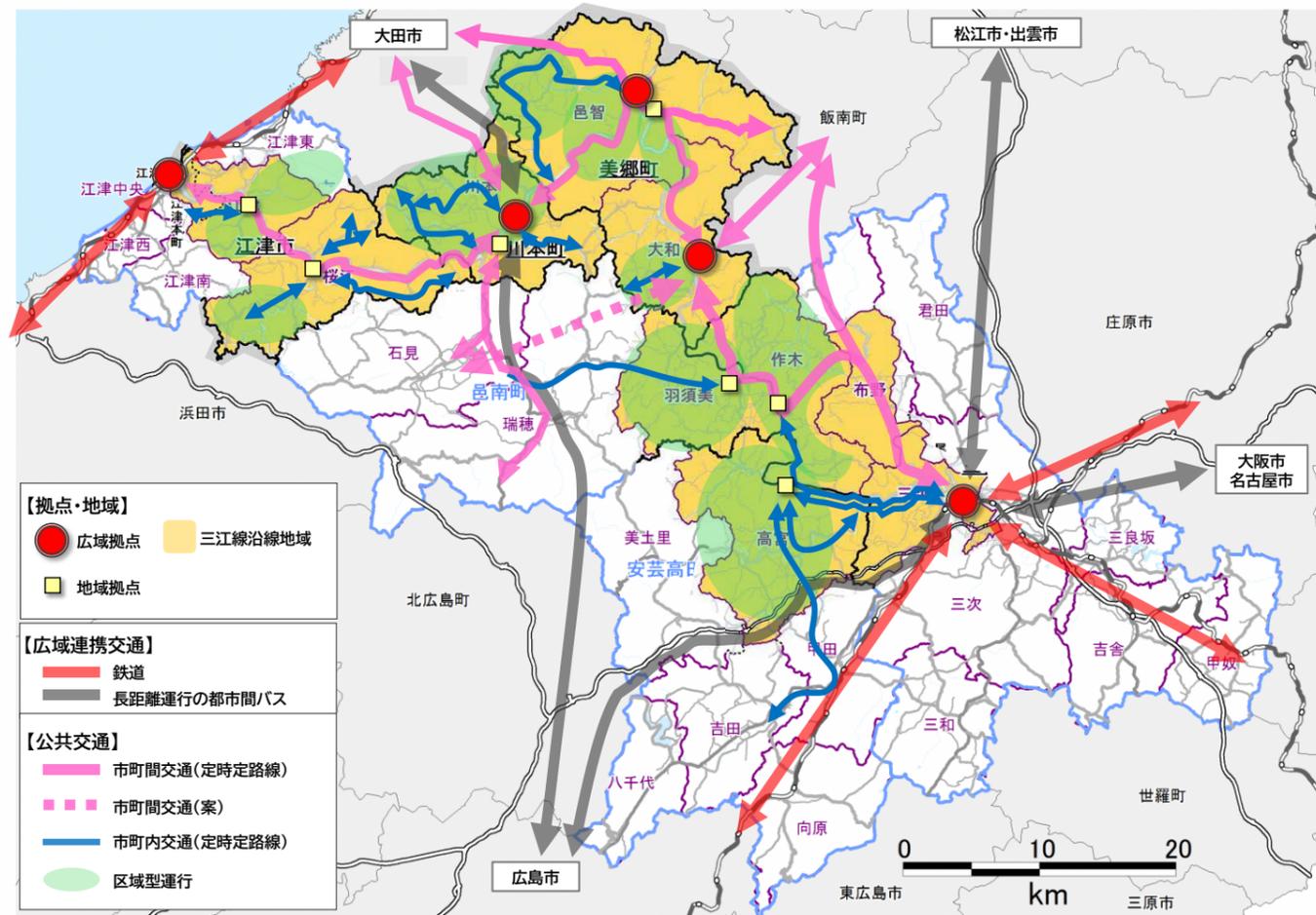
【三江線沿線地域に関連する市町間交通】
邑南川本線(おおなんバス)
川本線(石見交通)
布施線(大和観光)
赤名線(備北交通)

▲計画の対象路線図

三江線沿線地域の公共交通における課題

公共交通の役割	取り組むべき課題
ネットワーク	(1)広域的なネットワークとしての連携強化
	(2)交通結節点の機能強化と乗継利便性向上
暮らしを支える	(3)地理的条件や移動ニーズなど、地域の実情に応じたサービスの改善
	(4)高校生が通学で利用しやすいサービスの改善
	(5)効率的な運行サービスの改善
	(6)公共交通を利用しやすい環境づくり
	(7)ドライバーの担い手の確保や教育
地域の交流や活性化	(8)公共交通の利用促進と新たな公共交通利用者の開拓
	(9)公共交通とまちづくりの連携強化
	(10)観光二次交通としての公共交通活用
	(11)関係主体・地域住民の連携強化

公共交通ネットワークの将来像



計画の基本方針・基本目標

基本方針1 三江線沿線地域における公共交通ネットワークの充実

目標1 地域の方々の公共交通利用率の維持・向上

【事業1】 三江線沿線地域の公共交通ネットワークの維持・改善
 ・三江線代替交通を含め、前計画で構築した三江線沿線地域公共交通ネットワークの維持・改善を図る

目標2 主要な都市等との移動時間の短縮

【事業2】 主要都市や都市間交通の拠点にアクセスする「広域連携交通」の活用
 ・三江線沿線と主要都市との移動時間が短縮できるよう、広域連携交通と市町間交通・市町内交通のスムーズな乗換えが可能なダイヤを関係者間で調整のうえ検討

目標3 地域拠点における最適な乗換時間の設定

【事業3】 乗換えしやすいダイヤの設定
 ・各交通機関の結節点となる地域拠点においてスムーズな乗換が出来るダイヤを関係者間で調整のうえ検討

基本方針2 誰もが安心して利用できる持続可能な公共交通の提供

目標4 ハード面での快適性・安全性の向上

【事業4】 バス停留所等の施設の機能や安全性の強化
 ・必要に応じて、拠点やバス停の機能に応じた、停留所や上屋などの整備を検討
 ・新たなバス停留所の整備を検討(加藤病院)
 ・誰もが利用しやすい環境整備に向けて、バス車両やトイレ等のバリアフリー化を検討

目標5 ソフト面での便利で安心な利用環境の改善

【事業5】 利用しやすい運行情報の提供や運賃の設定
 ・利用者の利便性向上に向けて、各バス路線へのGTFS-JPの導入(乗り換えアプリへの掲載)を検討
 ・災害時等に利用者への速やかな情報提供の実施
 ・高校生の通学における割引制度や運賃補助の継続

目標6 事業者による運行の継続

【事業6】 運行継続に求められる支援の実施
 ・全国的にも不足する公共交通ドライバーの確保に向けた取り組みの推進
 ・運行補助制度等を効果的に活用した運行事業者への支援
 ・美郷町内で行われる自動運転バスの導入に向けた取組を支援

基本方針3 地域住民に支えられ、魅力ある地域づくりをサポートする公共交通

目標7 公共交通に関するコミュニケーション機会の増加による住民意識の向上

【事業7】 モビリティ・マネジメントの推進
 ・各種媒体を通じた情報発信や意見交換会の開催などにより、住民の公共交通を守る意識を醸成
 ・公共交通の利用促進と新たな利用者の開拓に向けて、ターゲットを明確にしたモビリティ・マネジメント(MM)を推進

目標8 観光など魅力ある地域のにぎわいづくりに向けた地域との協働による取組の推進

【事業8】 公共交通と地域のにぎわいづくりの連携
 ・民間団体と連携した地域活性化のための取組の検討
 ・沿線地域の公共交通を活用した観光プランの提案やイベントの開催などによる域外からの利用者の取り込み
 ・利用者の利便性向上に向けて、各バス路線へのGTFS-JPの導入を検討【再掲】